

至適化サービス詳細内容

対応可能な機種

機種	タイプ	反応数
LightCycler®ST300	キャピラリー	32 反応
LightCycler®480	プレート	96 or 384 ウェル
LightCycler® Nano	チューブ	32 反応

アプリケーション(例)

目的	方法
遺伝子発現定量(mRNA 定量)	1step qRT-PCR
	2step qRT-PCR
DNA 定量	qPCR
CNV 解析	qPCR
SNP 解析	HybProbe による融解曲線分析
	HRM 法
変異 DNA 定量	ご相談ください。
オルタナティブスプライシングバリエーションに特異的な定量	ご相談ください。

※上表以外のアプリケーション(マルチプレックス PCR など)も可能です。ご相談ください。

作業内容

- プライマー(およびプローブ)デザイン
- プライマー(およびプローブ)の合成
- 反応条件のセットアップ
- スタンドアードの作製(PCR 産物の精製物、定量解析の場合のみ)
- ※送付いただいたポジティブサンプルをもとの反応条件のセットアップを行います。
実験予定のサンプル(2 サンプルまで)を試し測定いたします。

納品物

- プライマー(およびプローブ)
- スタンドアード DNA(定量解析の場合のみ)
- 反応条件

生物種

全ての生物種にご対応いたします。

例)ヒト、マウス、ラット、ウシ、ブタ、ニワトリ、ゼブラフィッシュ、ショウジョウバエ、シロイヌナズナ、

イネ、真菌、バクテリア、ウイルス他

検出方法

下記のいずれかの検出方法を選択できます。

- インターカレータ(SYBRGreen I)法
- HybProbe 法
- 加水分解プローブ法

HybProbe 法の 3 つの特長

1. 2 種類のプローブにより検出するため特異性が高い。
蛍光の取得には 2 つのプローブが増幅産物にハイブリダイズする必要があるため、1 種類のプローブよりも信頼性が高いといえます。
2. アンプリコンサイズが長い場合も使用できる。
加水分解プローブのようにアンプリコンサイズと 5'末端の塩基の制約がありません。
オルタナティブスプライシングバリエーションや相同性遺伝子によりアンプリコンサイズを短く設定できない場合も、使用可能です。
3. 融解曲線分析により多型解析や変異検出が可能。
プローブ領域に多型や変異がある場合は、プローブと増幅産物間の融解温度が低温側にシフトします。そのため、融解曲線分析を行うことにより、多型解析や変異検出が可能です。

デザインおよび合成

全てのリアルタイム PCR のアプリケーションに対応します。

独自の設計基準により高品質なプライマー・プローブデザインをご提供します。

対応可能なアプリケーション

- 遺伝子発現定量(mRNA 定量)
- 遺伝子発現定量(siRNA 効果確認)
- 遺伝子発現定量(マイクロアレイ効果確認)
- DNA 定量
- CNV 解析
- 遺伝子増幅
- ウイルス・微生物定量
- SNP 解析(HRM 法)
- SNP 解析(HybProbe 法)
- 変異 DNA 定量
- オルタナティブスプライシングバリエントに特異的な定量
- ChIP qPCR
- シークエンス解析用プライマー設計

※その他ご相談に応じます。

ご準備いただくもの

目的の遺伝子の GenBank のアクセスナンバー(SNP の場合は rs 番号)